

I. 教職センター本部

1. 教職課程運営〈教育〉

(1) 本部キャンパス運営会議等

○第1回会議（6月5日、TV会議・各キャンパス会議室）

（議題）

- ・令和元年度の活動の振り返りと令和2年度の取り組みについて
（報告）
- ・令和2年度教員免許状更新講習の受付状況について

○第2回会議（7月27日、メール審議）

（議題）

- ・教員免許状更新講習の対面実施に関わるガイドラインについて

○第3回会議（11月5日、TV会議・各キャンパス会議室）

（議題）

- ・令和3年度教員免許状更新講習の開設について
- ・教職センター年報の発刊について

○第4回会議（12月22日、メール審議）

（議題）

- ・令和2年度業務実績報告（原案）及び令和3年度計画（案）

○第5回会議（2月4日、メール審議）

（議題）

- ・出雲キャンパス規程改正について
 - (1) 島根県立大学看護栄養学部編入学等に関する規程
 - (2) 島根県立大学看護栄養学部他の大学等における履修等に関する規程
 - (3) 島根県立大学看護栄養学部入学前既修得単位等の認定に関する規程

○第6回会議（2月5日、メール審議）

（議題）

- ・令和3年度教員免許状更新講習開設案について

(2) 教職課程履修学生指導

○教職課程等履修の手引きの作成

教職志望者が、本学における教員養成の理念を理解するとともに、教員職員免許制度の概要を把握し、在学中の教職課程の要件科目及び実習等の大まかなスケジュールを確認することを目的として作成した。今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応から、

例年 4 月に対面で実施する教職課程履修説明会が実施できなかったため、手引は各キャンパス・学部学科で配布、説明した。

また、各キャンパスが、免許取得校種・教科に応じて履修指導を実施した。

(3) 教職キャリア支援

○教職課程履修説明会

例年 4 月に実施している松江キャンパス及び出雲キャンパス合同の教職課程履修説明会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により遠隔授業となったため中止とし、各学科において、本学の教職課程の理念及び設置の趣旨を理解し、計画的に履修を進められるように、教職課程等履修の手引き及び教職課程履修カルテなどについて説明を行った。

○教員採用試験対策キックオフ講演（10 月 12 日、松江キャンパス大講義室・各キャンパス同時中継）

時事通信出版局から外部講師を招聘し、「教員採用試験の最新動向と対策：今夏の出題傾向と残り 10 か月の対策」をテーマに、教員採用試験の全国的な動向及び試験の概要を解説した。Teams を用いてオンラインで実施し、学生 65 名が参加した。

○広島県・広島市公立学校教員採用説明会（11 月 25 日、松江キャンパス第 1・第 2 研修室）

広島県・広島市教育委員会教職員課の協力により、教員採用試験実施状況説明会を実施した。①広島県の教育、②広島県の教員に求める資質能力、③令和 3 年度教員採用試験の実施状況、④今後の教員採用試験などの事項について、説明・紹介を行った。学生 12 名が参加した。

○保幼就職セミナー（12 月 16 日、松江キャンパス大講義室）

公立保育所・幼稚園等の就職を希望する学生に対して、採用試験の動向及び試験の概要を解説した。主に松江市職員採用試験 2 次試験対策（面接・実技）を中心に説明を行い、学生 35 名が参加した。

○島根県公立学校教員募集説明会（3 月 11 日、松江キャンパス 244 講義室）

島根県教育庁学校企画課の協力により、教員募集説明会を実施した。①島根県の教育、②島根県の教員に求める資質能力、③令和 3 年度教員採用試験の実施状況、④今後の教員採用試験などの事項について、説明・紹介を行った。学生 21 名が参加した。

2. 社会貢献・地域連携事業〈社会貢献〉

(1) 教員免許状更新講習の企画・運営

令和 2 年度は、コロナ禍の中、教員免許状更新講習を対面で行うにあたって、「新型コロナウイルス感染症への対応ガイドライン」を作成し、必修・選択必修・選択のすべての領域において対面講習を開講した。

令和2年度開設講習・受講状況

領域	講習名	開催日	会場	定員	受講者数
必修	教育の最新事情 A	8/7	松江 C	50	52
	教育の最新事情 B	9/12	浜田 C	50	39
	教育の最新事情 C	11/14	松江 C	50	51
選択 必修	教育相談	8/3	浜田 C	30	33
	保幼小連携を考える	8/6	松江 C	30	34
	学校・家庭・地域の連携及び協働	8/8	松江 C	30	40
	小学生の英語教育	8/28	松江 C	30	23
選択	現代日本の政治	8/2	浜田 C	30	29
	日本語の不思議を考える	8/4	松江 C	30	33
	児童・思春期における栄養とこころのケア	8/4	出雲 C	30	29
	音楽遊びから教科の学びへ —音楽を通して保幼小をつなぐ	8/5	松江 C	30	23
	日本人英語教師のための英語発音矯正講座	8/8	浜田 C	30	8
	保育実践における「遊び」について考える	8/18	松江 C	30	28
	現代日本文学と「物語」	8/19	松江 C	30	8
	主体的・対話的で深い学びを目指す 小学校理科授業	8/20	松江 C	20	15
	「なーんだ、やれそう！」 国語科の主体的・対話的で深い学び	8/21	松江 C	30	21
	新学習指導要領に基づく 算数・数学の授業づくり	8/24	松江 C	30	17
	文化資源としての小泉八雲	8/25	松江 C	30	10
	学校保健における教員の役割	8/27	松江 C	30	23
	子どもの対人関係能力を育てる 「社会性と情動の学習 (SEL)」	8/28	浜田 C	30	32
	主体的な態度を育む図画工作	8/29	松江 C	30	29
	特別なニーズのある子どもの理解と支援 —場面緘黙と自閉症を中心に—	9/5	松江 C	30	36
	食文化の変遷と歴史的背景	9/19	出雲 C	30	20
	だれでもできる表現運動の授業	9/26	松江 C	20	13
行動変容につながるカウンセリング技法	9/26	出雲 C	30	24	

	統計学の基礎と応用	11/5	浜田 C	30	18
	行動変容を促すための 相談・保健指導・生活支援	11/21	出雲 C	30	32

(2) 教職センターリーフレット作成

本学の教職課程における学びの特色や、免許・資格取得までのスケジュール、また、教職センターが行うサポート体制について、主に地域の高校生へ向けて広報する目的で令和2年度に作成した。

3. 教職カリキュラム・教師教育研究〈研究〉

(1) 教職課程FD

中央教育審議会『これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について（答申）』（平成27年）は、教職課程の質の保証・向上を目的として、全学的に教職課程を統括する組織の設置を努力義務化するように提言している。また、これらの組織が中心となって、教職課程担当教員の資質能力の向上を図るために、現代の教育課題に対応したFD等の実施を推進するように指摘した。各キャンパスに教職課程を設置する本学では、他大学の事例を参考にしつつ、より効果的なFD研修の実施について今後研究する必要がある。

令和2年度に設置された文部科学省の有識者会議「教職課程の質保証のためのガイドライン検討会議」は、①教職課程の全学的な組織体制について、②教職課程の自己点検評価についての検討を進めており、大学の教職課程の組織体制を備えることならびに教職課程の水準を維持・向上させていく仕組み（自己点検評価）の確立を目指している。国の政策動向に留意しながら、教職課程の実質的な質保証に努める必要がある。

(2) 教職センター年報の発刊

本学の教職課程及び教員養成にかかる研究・教育・地域貢献活動の成果・実績の記録として、令和元年度に教職センター年報を創刊した。令和2年度は同年報第2号を刊行し、11本の研究報告・実践研究報告等を公表した。なお、今年度からは冊子体の刊行をとりやめ、大学リポジトリのみでの公表としている。

Ⅱ. 松江キャンパス

1. 教育実習・保育実習の実施

(1) 四大保幼部会

○保育士資格関係

- ・保育実習Ⅰ（保育所）（2月12日～3月5日）
- ・保育実習Ⅱ（保育所）説明会①（実習スケジュールについて） 7月
- ・保育実習Ⅱ（保育所）説明会②（内諾について） 1月
- ・保育実習Ⅰ（施設）（8月17日～8月30日、9月7日～9月20日）

※新型コロナウイルス感染症の関係により、学外実習から「学内演習」に切り替えて対応した。

- ・保育実習Ⅱ（8月17日～8月30日）

○幼稚園教諭免許状関係

- ・教育実習ガイダンス①（内諾について）4月
- ・教育実習（9月10日～9月28日、10月26日～11月6日）
- ・教育実習ガイダンス②（承認申請について）1月

(2) 四大小部会

- ・令和4年度の教育実習について、学生の実習先小学校を振り分け
- ・令和4年度の教育実習について、太田市内の実習先小学校への依頼

(3) 四大特支部会

○実習先等挨拶回り

10月15日～10月16日：宿泊先の確認

○島根県教育委員会との協議

第一回（8月3日）：教育実習先の検討

「実習の手引き」と「実習日誌」を作成した。教育実習説明会において配布予定である。

(4) 四大中高部会

〈1年生対象〉

- ・全学生向けに教職課程の履修指導を実施（4月）
- ・教職課程履修希望者へ説明会を実施（1月よりオンデマンド配信）
- ・教職課程履修者向けに『令和2年度入学生対象 教職課程の手引き』改訂（2月、令和3年度4月に配布予定）

〈2年生対象〉

- ・「履修カルテ」「学習ポートフォリオ」の作成要項の説明会実施（4月）
- ・教育実習についての説明会を実施（12月）

〈3年生対象〉

- ・湖南中学校、開星中学・高等学校、安来高等学校と来年度の教育実習受け入れ、および内諾訪問について協議を実施（6月）
- ・学生向けに内諾訪問の説明会を実施（6月よりオンデマンド配信）
- ・私立開星中学・高等学校にて国語と英語の授業観察実習についての協議を実施（7月）
- ・学生向けに授業観察実習説明会を実施（11月）
- ・私立開星中学・高等学校にて国語と英語の授業観察実習を実施（12月）

（5）短大幼保部会

○保育士資格関係

- ・保育実習ⅠA（9月4日～9月17日）
- ・保育実習ⅠB（8月17日～8月28日）

※新型コロナウイルス感染症の関係により、学外実習から「学内演習」に切り替えて対応した。

- ・保育実習Ⅱ（10月19日～11月1日）
- ・保育実習Ⅱガイダンス①（1月21日）
- ・保育実習Ⅱガイダンス②（1月28日）
- ・保育実習Ⅲガイダンス（4月30日）

※保育実習Ⅲについては、新型コロナウイルス感染症の関係より、実習の受け入れの見通しが立たなかったため、履修希望学生の保育実習Ⅱへの履修変更を提案し対応した。

- ・『2021 実習の手引き』作成

○幼稚園教諭免許状関係

- ・教育実習ガイダンス①（内諾について）4月
- ・教育実習（9月3日～9月30日）
- ・教育実習ガイダンス②（承認申請について）12月
- ・『2021 実習の手引き』作成

2. 介護等体験の実施

○島根県教育委員会との協議（令和2年4月8日、島根県教育委員会）

島根大学とともに、新型コロナの影響による介護等体験（特別支援学校）等について確認した。

○介護等体験事前指導

社会福祉施設（令和2年6月1日、対面）

特別支援学校（令和2年7月13日～31日、オンデマンド）

○介護等体験実施期間

社会福祉施設（令和 2 年 6 月 15 日～10 月 24 日）

特別支援学校（令和 2 年 9 月 10 日～11 月 19 日）

○令和 3 年度介護等体験の説明会実施（令和 3 年 2 月 26 日～3 月 5 日、オンデマンド）

3. 就職支援

四大部幼稚園・保育士関連

○模擬試験の実施

1 月に 3 年生を対象とした幼保模試を実施した。

短大幼稚園・保育士関連

○模擬試験の実施

4 月に 2 年生、2 月に 1 年生を対象とした幼保模試を実施した。

○模擬面接の実施，エントリーシート添削指導

3 月に 1 年生を対象とした授業（「キャリア・プランニング」）において、全員に模擬面接及びエントリーシートの書き方についてガイダンスを実施した。また、2 年生の希望学生については、クラス担任を中心に学科内の教員が対応した。一部、保育職を希望する学生については、教職センター職員と連携をとり対応した。

○就職情報の提供

教務学生課より短大部の学生に対して 1 週間に 1 回程度、求人票受付情報をメールで発信している。この情報は、UNIVERSAL PASSPORT で閲覧可能となっている。また、クラス担任が中心となり、学生の希望就職先の相談を行いきめ細やかな指導を行った。

○ボランティア活動の支援

「保育ボランティア実習 I・II」を開講し、1 年次より様々な保育職の現場について体験を通して知る機会を設けている。また、希望する就職先を見据え、ボランティア活動を推奨し、学生がボランティア活動を行う上での相談を行うなど、支援を行っている。

4. 学外関連機関との連携・協力

（1）ボランティア・インターンシップ活動

○保育教育学科

保育教育職インターンシップ

学生自らが自主的に計画し、令和 2 年度に一人 90 時間以上のインターンシップ（ボランティア）を実施する計画であったが、コロナウイルス感染拡大を受けて、ほとんどが 8 月以降の実施となり、計画通りに進めることが困難な状態であった。そのため、実施の期間を令和 3 年度の秋学期まで延長する措置をとった。また予定していた全体での中間発表も、1 月に 4 つのグループに分かれて情報交換という形で実施した。

実際に保育教育職インターンシップを実施した施設等は、次の通りである。

- ・ 保育園・認定こども園・幼稚園（保育補助・保育士等業務の補助）
松江市内、出雲市内、岡山県新見市内の保育園・認定こども園・幼稚園
- ・ 小学校（学習支援・教員業務の補助）
松江市内小学校（乃木小学校、大庭小学校、雑賀小学校）
- ・ 特別支援学校（学習支援）
松江養護学校 松江ろう学校 香川県立香川東部養護学校
- ・ 児童クラブ（指導員補助）
学生出身地の児童クラブ
- ・ 島根県立青少年の家 サン・レイク（イベント指導補助）
キッズチャレンジ、ウインターチャレンジ等
- ・ 福祉施設（入所児支援補助）
障害児入所施設・障害児支援施設 松江学園
母子生活支援施設 島根東光学園
- ・ その他の団体
フードバンクしまね「あったか元気便」（活動支援）
おんせんキャンパス（学習支援）
ユニバーサル柔道アカデミー島根（指導補助）
民間のボール遊び教室（指導補助）

○地域文化学科

- ・ 10月より湖南中学校での放課後学習ボランティア開始(通年)

（２）学外関連機関との意見交換・打ち合わせ等

○中・四国保育者養成公立大学会議報告（旧西日本保育士養成所長会議）

令和２年９月１７日、岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科を担当校として、オンライン会議で中・四国保育者養成公立大学会議が開催された。

参加者：高橋 実（福山市立大学教育学部児童教育学科）

岡本 直行（新見公立大学健康科学部健康保育学科）

金山 和彦（倉敷短期大学部保育学科）

高橋 泰道（島根県立大学人間文化学部保育教育学科）

宮下 裕一（島根県立大学短期大学部保育学科）

中村 光、山本 孝司、柏 まり、京林 由季子（岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科）

協議事項

I. 会則案について

会長校である岡山県立大学から事前にメールで協議していた会則案が提示され、出席者で確認した。その結果、全校一致で承認され、本会則は令和２（2020）年９月１８日から施行と決定された。会議名称は「中・四国保育者養成公立大学会議」に変更となった。

Ⅱ．協議（照会）事項について

1：保育実習における指導案作成時のパソコンの使用について

各校から順にそれぞれにおける取り組みについての回答があり、情報共有を行った。パソコン使用が多くを占めていた。

2：コロナウイルス感染症対策について

2－①：授業（実習以外）

2－②：実習（保育実習、教育実習）

2－③：学生支援

2－④：学外活動

2－⑤：入学試験

各校から順にそれぞれにおける取り組みについての回答があり、各校からの質疑応答、意見交換等が行われた。

※次年度当番校は、福山市立大学となった。

○島根県保育士養成校連絡協議会

11月16日、大阪健康福祉短期大学松江キャンパスにおいて設立総会が行われた。

【参加者】

高橋顧問（島根県立大学短期大学部名誉教授）、余村学長代行（大阪健康福祉短期大学松江キャンパス）・橋本学科長他数名（大阪健康福祉短期大学保育・幼児教育学科）、岸本副学長・高橋保育教育学科長・宮下保育学科長（島根県立大学）、舟木科長・持田事務主任（出雲コアカレッジこども福祉科）、山口会長（島根県保育協議会）、須山支部長（日本保育協会島根県支部）、中山副会長（島根県私立保育園連盟）、黒崎所長（島根県社会福祉協議会福祉人材センター）、勝部課長（島根県健康福祉部子ども子育て支援課）、江角室長（島根県幼児教育センター・島根県教育庁）、吉田学校長・岩田学科長（トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校こども保育学科）

【協議事項】

本会設立発起人である余村学長代行（大阪健康福祉短期大学松江キャンパス）より、挨拶があり、島根県保育士養成校連絡協議会発足の宣言がなされた。

・本会規約案について、第6条（入会）、顧問選出、会長及び事務局の輪番の決定について承認された。

・島根県西部・隠岐地域における保育人材確保事業の推進については、協議を行い、事業対象を島根県全域に変更することで承認された。

・保育の質の向上のための研修事業・学生の実習環境の整備について、今後、提案された方向性で事業を作っていくということで承認された。

Ⅲ. 出雲キャンパス

1. 活動実績

- ・教職課程ハンドブック内容検討、作成
- ・教職課程履修カルテの内容検討、作成
- ・教職履修学生への履修指導
- ・教職課程履修カルテの説明、指導
- ・教育実習に係る計画、調整、運営
- ・教育実習ノートの作成
- ・教員採用試験対策セミナー（ガイダンス）実施（教職センター本部主催）
- ・教員採用試験対策講座実施（12月25日、26日）
- ・教員採用試験対策のための資料の充実

2. 次年度以降の課題

- ・教職課程履修カルテの指導と活用方法の検討
- ・教育実習要項の作成
- ・教育実習に係る計画、調整、運営
- ・教員採用試験対策のための資料の充実

IV. 浜田キャンパス

1. 会議実績

- 第1回会議（6月5日）
 - ・令和2年度教育実習について
 - ・令和2年度教職実践演習について
 - ・令和2年度教職課程登録者について

2. 活動実績

(1) 公民・英語共通

- ・教職実践演習授業計画の検討、授業実施に係る連絡調整

(2) 公民

- ・教育実習に係る巡回指導の実施（10月23日）
- ・江津高等学校での模擬授業実施（教職実践演習授業内、11月20日）

(3) 英語

- ・浜田高等学校での模擬授業実施（教職実践演習授業内、11月20日）

(4) その他

- ・島根県立浜田ろう学校見学（教職実践演習授業内、12月18日）
- ・島根県教育委員会への教員免許状申請（公民5名、英語3名）

3. 次年度以降の課題

- ・「教職実践演習」の授業計画の体系化
- ・教職課程履修カルテ作成に係る指導の徹底と活用方法の検討
- ・教職課程廃止に向けた履修指導の徹底

V. 資料・データ

1. 模試等の実施状況

- ・令和3年1月20日 教員採用模擬試験専門記述プレ模試（松江キャンパス）
- ・令和3年2月24日 PSES 公務員試験セミナー幼保模試実施（松江キャンパス）
- ・令和3年3月11日 教員採用模擬試験4月模試（松江キャンパス）

2. 令和2年度教員免許状等取得者数

(1) 短期大学部保育学科（松江キャンパス）

- 保育士資格…43名
- 幼稚園教諭二種免許状…41名

(2) 総合政策学部総合政策学科（浜田キャンパス）

- 高等学校教諭一種免許状（公民）…6名
- 高等学校教諭一種免許状（英語）…3名

3. 令和2年度卒業生就職状況

(1) 短期大学部保育学科（松江キャンパス）

○公務員

和歌山県田辺市、広島県三次市、松江市、隠岐の島町

○社会福祉法人・保育園等

社会福祉法人いわみ福祉会、社会福祉法人松生会、社会福祉法人たんぽぽ、他

(2) 総合政策学部総合政策学科（浜田キャンパス）

○公務員

鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校

○学校法人

学校法人松本学園広島桜が丘高等学校、広陵学園広陵高等学校

教職課程担当教員（令和2年度）

教職センター本部

センター長	高橋 泰道（人間文化学部保育教育学科）
副センター長《浜田キャンパス》	犬塚 優司（総合政策学部総合政策学科）
副センター長《出雲キャンパス》	吾郷 美奈恵（看護栄養学部看護学科）
副センター長《松江キャンパス》	高橋 泰道（兼任）
センター兼任教員	時津 啓（人間文化学部保育教育学科） 牧瀬 翔麻（人間文化学部保育教育学科）

浜田キャンパス

教職担当 別枝 行夫・三浦 邦彦・川中 淳子（総合政策学部総合政策学科）

出雲キャンパス

教職担当 今中 美栄・橋本 由里（看護栄養学部健康栄養学科）

松江キャンパス

幼稚園教員・保育士養成担当

小山 優子・矢島 毅昌（人間文化学部保育教育学科）

小学校教員養成担当

齊藤 一弥・高橋 泰道（人間文化学部保育教育学科）

特別支援学校教員養成担当

西村 健一（人間文化学部保育教育学科）

中学校・高等学校（国・英）教員養成担当

小柳 正司・田中 芳文・古賀 洋一（人間文化学部地域文化学科）

短大部幼稚園教員・保育士養成担当

宮下 裕一・小林 美沙子（短期大学部保育学科）

教職センター付き特任教員 青山 啓子・赤木 寛子

教職課程に関わる職員

浜田キャンパス	教務学生課	岡本 怜嗣
出雲キャンパス	教務学生課	早志 鮎美
松江キャンパス	教職センター	荒川 富美代・辻 理佐
	教務学生課	佐藤 華代

Ⅶ. 教職センター沿革

- 平成 30 年 4 月 島根県立大学として全学の教職センターを設立
- 平成 30 年 4 月 全学の教職センターを松江キャンパスに設置（地域連携課と同室）
- 令和 2 年 2 月 全学の教職センターを松江キャンパス旧図書館に移設（事務室に加え、
教職資料室、教職相談室を設置）
- 令和 2 年 3 月 教職センター年報を創刊